

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE; Carbapenem-Resistant Enterobacterales）

による院内感染について <第5報>

当院では、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）による院内感染について、引き続き対策を強化しております。

新たな CRE 陽性患者さんの確認

2025 年 10 月 25 日および 26 日の両日にわたり、呼吸器症状を呈している、入院中患者様それぞれ 1 名の喀痰より CRE が検出されました。

この事象を受け、当院では予定しておりました第 7 回目の全棟検査を前倒しにて実施いたしました。

まず、2025 年 10 月 30 日に、上記患者様が入院されている病棟を対象とした CRE 検査（便）を実施した結果、新たに検出された方は確認されませんでした。

続いて、他病棟に入院中の患者様を対象に、2025 年 11 月 4 日に CRE 検査（便）を実施したところ新たに 1 名の患者様より CRE が検出されましたが、症状は認められておりません。

なお、現在院内にて隔離入院中の CRE 保菌者につきましては、喀痰より検出された上記 2 名の患者様を除き、いずれの方にも症状の発現は確認されておりません。

専門家を交えた会議の開催

この結果を踏まえ、2025 年 11 月 17 日には拡大院内感染防止対策委員会を開催（定例会議として開催）いたしました。

当院の感染対策メンバーに加え、静内保健所、国立感染症研究所、道立衛生研究所、さらには徳洲会グループ本部の専門家の方々に、オンラインまたは対面でご参加いただき、感染対策に関するさらなる協議を行いました。専門家の方々から貴重なご意見をいただき、今後も引き続き、すべての患者さんの CRE 検査を定期的実施し、感染対策を徹底してまいります。

患者さんやご家族の皆さまにはご心配をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。

また、感染状況や当院の対応については、今後も定期的に情報を公開してまいります。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本件に関するご意見・お問い合わせは、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

【お問い合わせ先】 contact@hidakatokushukai.com

2025 年 11 月 18 日

日高徳洲会病院 院長 井齋 偉矢